

はま Y O U



白良浜砂まつり(白浜はまゆう病院チームも奮闘中)

Vol.
21
2012.夏号

CONTENTS

理念・基本方針……………	2
理事長挨拶……………	2
2012年度事業計画……………	3~4
2011年度診療実績……………	5
回復期リハビリテーション病棟 入院料Iを届出……………	6
新採用医師のご紹介……………	7
中国から看護研修生が来ました……………	7
健診でメタボリックシンドロームを 予防しましょう……………	8
整形外科の診療体制について……………	8
在宅で人生を終えること……………	9
鮎川診療所10周年記念事業 鮎川・健康まつりのご案内……………	10
患者さまからの声……………	10
管理栄養士のおすすめレシピ……………	11
新本館建設工事について……………	11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

小児科外来

診療日 / 月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前
受付時間 / 午前8時半~11時半
午後1時半~4時半
診療時間 / 午前9時~12時
午後2時~5時
ふるくぼ かずひろ
担当 : 古久保 和洋 医長

婦人科外来

診療日 / 月~水曜日 午前・午後
木・金曜日 午後
受付時間 / 午前8時半~11時半
午後1時半~4時半
診療時間 / 午前9時~12時
午後2時~5時
くにべ ひさや
担当 : 國部 久也 部長



薬剤師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士 募集中

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切に医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざというときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだに
みんなが、
いつでも



理事長就任のご挨拶

理事長 井潤 誠(白浜町長)



本格的な夏の到来を迎え、皆様方におかれましては益々清祥のこととお喜び申し上げます。本年4月1日、財団法人白浜医療福祉財団は「公益財団法人白浜医療福祉財団」の名称に変わりました。

公益財団法人として認定を受けたということは、事業の公益性が求められ、社会的な信頼を受けたということであり、社会的責任が従来にも増して伴うということでもあります。定款に定められている「白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする」との使命に基づき、白浜はまゆう病院をはじめとする事業所では、質の高い医療や福祉を目指し、さらに努めていかねばならないと考えています。

そんな中、白浜はまゆう病院新本館建設工事では、請負業者による工事施工ミスが発覚、工事が遅れ、多くの皆様にご心配とご迷惑をおかけしていますことを心からお詫び申し上げます。これからは関係機関と連携しながら新本館工事完成に向けて体制の強化に努めたいと存じますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

より安心で、より安全な病院づくりを皆様と共に目指すことが私に課せられた責務だと考えております。皆様方には今後ともご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げ、理事長就任のご挨拶とさせていただきます。

2012年度の主な事業計画

～公益財団法人のスタート、新本館建設工事の再開～

2012年4月1日、本財団は、公益財団法人として新たな一步を踏み出しました。

昨年度、公益財団法人への移行方針を定め、和歌山県担当課との協議を重ね、移行申請書を提出し、県公益認定等審議会での審議を経て、県知事から移行を認定されました。

白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。公益に携わる存在として、一層その存在は重要なものとなり、責任は重くなります。

白浜はまゆう病院新本館建設工事は、施工上の不祥事により工事が中断し、完成は大幅に遅れる見通しであり、その影響は計り知れないものがあります。関係機関・団体の皆様のご指導をいただき、財団の総力を結集して、この事態を克服し、災害時にも診療機能が提供できる新本館の完成を成し遂げなければなりません。

本年度は、2025年を見据えた診療報酬・介護報酬同時改定が実施されます。

診療報酬は、全体でプラス0.004%と前回に続きプラス改定となりましたが、実質はほぼ据え置きと言えます。介護報酬も全体でプラス1.2%の改定ですが、実質はマイナス改定と言われています。介護療養病床の存続は、6年間延長されていますが、報酬は引き下げられ、介護療養型老人保健施設等への転換が促されており、病床利用形態の在り方が問われる内容になっています。改定内容の検証を行い、医療サービスの向上と増収対策上、的確な対応に努めます。

1. 公益事業

- (1) 2010年12月に見直し施行した「理念」「基本方針」「患者・利用者の皆様の権利と義務について」の推進に努め、年度末に見直し検討を行います。
- (2) 公益財団法人に相応しく、関係法令に基づく組織運営の確立に努めます。
- (3) 財政基盤の強化、組織体制の強化に努めます。
- (4) 院内研究発表大会を開催し、医療・ケア・サービスの向上に努めます。
- (5) 「健康教室」を定期開催し、地域住民の健康意識の向上に努めます。



新本館完成イメージ

2. 白浜はまゆう病院

- (1) 新本館建設工事の早期再開を目指し、安全で耐震力のある建物の完成を目指します。
- (2) 新本館完成時の介護療養病床の削減(△12床)をはじめ、適切な病床利用形態の検討を進めます。
- (3) 診療報酬・介護報酬の同時改定に対応、増収を目指し病院経営の改善に努めます。
- (4) 新本館建設工事の延期により、医療情報システムの更新計画の全面的な見直しを行った上で、既存施設内での更新を目指します。
- (5) 医療サービスの質の改善に努め、ホスピタリティの高い病院づくりの推進に努めます。
- (6) 医療人材の確保と育成に努めます。
 - ① 医師・薬剤師・看護師・リハビリテーションセラピストの採用に努めます。
 - ② 教育・研修を通じた人材の育成、研究発表の奨励、専門資格者の養成を行います。
 - ③ 管理・監督職研修を行ない、実務指導者の養成を行います。
- (7) 主要診療機能の拡充を図り、消化器疾患、呼吸器疾患、関節疾患、神経難病疾患、泌尿器疾患、リハビリテーション、リウマチ疾患の外来診療の充実を努めます。
- (8) 救急医療体制の再構築、へき地医療支援の継続に努めます。
- (9) 医療安全対策および院内感染対策の充実を図ります。
- (10) 財団内施設間の連携、地域医療連携の推進に努めます。
- (11) 地域医療連携の推進と医療活動を通じた地域への貢献に努めます。

- (12) DPCの運用と医療標準化の推進に努め、クリニカルパスの拡大と適用率の向上に努めます。
- (13) 病院機能評価認定更新後の継続的な業務改善活動の推進に努めます。
- (14) 健全経営の維持に努めます。
- (15) 危機に強い病院づくりに努め、災害時に強い病院づくりを推進し、DMAT(災害派遣医療チーム)の研修への参加を行います。
- (16) 広報活動の強化に努め、病院ホームページの全面更新を行ない、診療機能のアピールや新本館建設などタイムリーな情報の発信に努めます。

3. 西富田クリニック

万全な医療を提供し、安心してかけられる心やさしいクリニックづくりに努めます。

- (1) 白浜はまゆう病院との連携により、地域における外来診療機能の充実に努めます。
- (2) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんばぼと連携し、「在宅療養支援診療所」「時間外対応加算」の体制を充実し、在宅医療、地域医療の提供に努めます。
- (3) 更新を予定している電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、財団施設間の診療情報を共有し、診断・治療の向上に努めます。
- (4) 患者動向や診療報酬改定の状況変化を分析し、経営の安定に努めます。



4. 鮎川診療所

地域に密着し、広く利用していただける診療所運営を行います。

- (1) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんばぼと連携し、「在宅療養支援診療所」「時間外対応加算」の体制を充実し、在宅医療、地域医療の提供に努めます。
- (2) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (3) 更新を予定している電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、財団施設間の診療情報を共有し、診断・治療の向上に努めます。
- (4) 開院10周年の記念行事を計画します。



5. 日置診療所

白浜はまゆう病院と連携し、地域の住民が気軽に受診できる診療所運営を目指します。

- (1) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんばぼと連携し、「在宅療養支援診療所」「時間外対応加算」の体制を充実し、在宅医療、地域医療の提供に努めます。
- (2) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (3) 更新を予定している電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、診断・治療の向上に努めます。

6. 川添診療所

「理念」に沿い、川添地区に根ざした医療機関として、質の高い医療サービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりを目指します。

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかれる診療所づくりに努めます。
- (2) 白浜はまゆう病院との更なる連携を図り、地域住民が安心できる診療所運営に努めるとともに、更新を予定している電子カルテシステム・遠隔画像診断システムの活用にも努めます。
- (3) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校と連携し、医療面での支援・協力を努めます。

7. 訪問看護ステーションたんばぼ

病気や障害を持った人が、住みなれた地域やご家庭で、その人らしく療養生活が送れるように看護ケア・リハビリを提供し、予防から看取りまでの療養生活を支援します。

- (1) 積極的な訪問活動を推進し、訪問事業の円滑な運営を行います。
- (2) 他の事業者との連携を大切にして、サービスの円滑な提供に努めます。
- (3) 利用者のニーズに沿った、より質の高い看護・リハビリの提供に努めます。

あ み だ い
ん ん ね つ
し な げ て
ん だ も も
。 、



2011年度診療実績

白浜はまゆう病院

《 クリニカル・インディケーター 》

クリニカル・インディケーターとは、医療の質を定量的に評価する指標のことで、医療の質を客観的に測ることのできる【ものさし】にあたります。

当院でもいくつかのクリニカル・インディケータを設定して、医療水準や質の面での改善課題や引き上げ目標を明確にして取り組んでいます。

			2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
平均在院日数	一般病棟		17.8	18.0	20.0	19.5	19.4
	回復期リハビリ病棟		46.4	48.4	53.9	61.2	56.8
	医療療養病棟		79.1	75.1	91.3	124.6	178.6
	介護療養病棟		154.7	113.0	106.9	101.7	94.9
病床利用率	一般病棟	本館4階	91.9%	91.1%	93.1%	91.0%	92.4%
		本館5階	89.4%	88.9%	89.5%	86.7%	86.7%
	回復期リハビリ病棟	新館5階	97.8%	96.8%	96.5%	97.3%	94.6%
	医療療養病棟	新館3階	92.4%	89.5%	94.0%	94.0%	95.5%
	介護療養病棟	本館3階	98.5%	98.2%	98.1%	98.6%	97.6%
		新館4階	98.5%	98.4%	98.4%	98.3%	98.5%
医療療養病棟の医療区分の割合	医療区分1		37.7%	43.8%	36.6%	22.7%	15.7%
	医療区分2		43.8%	41.0%	46.9%	49.6%	59.0%
	医療区分3		18.5%	15.2%	16.8%	27.7%	25.3%
救急搬入患者	搬送患者数		776	790	712	700	881
	救急入院総数		260	238	204	172	259
	救急患者入院率		33.5%	30.1%	28.7%	24.6%	29.4%
退院サマリ作成率	作成率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.6%
	2週間以内完成率		74.3%	81.2%	86.8%	90.1%	85.2%
回復期リハビリ病棟	在宅復帰率		77.6%	81.3%	82.0%	73.1%	77.5%
	重症患者比率		—	15.3%	24.3%	30.9%	30.4%
入院中の新規褥瘡発生率	院内発生		50	42	35	80	74
	持込		50	51	53	82	58
	発生率		2.5%	1.8%	1.8%	2.0%	2.1%
	治癒率		21.7%	14.6%	17.0%	28.5%	17.4%
感染関連 (人／日)	MRSA平均管理者数		16.47	14.51	17.28	9.02	13.07
	疥癬平均患者数		0.21	0.09	0	0	0.23
	結核平均患者数		0.11	0.08	0.02	0	0

《 主な手術と検査 》

(2011年4月～2012年3月)

検 査		
検査名	件数	内容
胃内視鏡検査	2,495	口または鼻からカメラを挿入して胃の中の状態を検査する。一般的に言われている『胃カメラ』の事
大腸内視鏡検査	230	肛門からカメラを挿入して、直腸・S状結腸・下行結腸から上行結腸及び盲腸までの状態を検査する
膵胆系内視鏡検査	20	十二指腸までカメラを進め、その先は細いカテーテルを膵管や胆管に挿入し、造影する

手 術		
手術名	件数	内容
人工膝関節全置換術	140	大腿骨、脛骨を人工関節の形状に合わせて切除し、人工関節を設置する
観血的骨接合術	89	骨折部を直接プレートやネジ等で固定する
人工股関節全置換術	48	大腿骨の骨頭を切除し、骨盤側の受け口(臼蓋)の表面を削り、各々人工関節を設置する
大腸ポリープ切除術(内視鏡下粘膜切除含む)	45	大腸内視鏡を使い、有形性の病変に対し、ループ状の針金(スネア)に高周波電流を流し切除する
ヘルニア根治術	23	人工物(メッシュシート)を使い、ヘルニアの穴にふたをし、さらに腹壁の補強をする
人工骨頭置換術	16	大腿骨頭を切除し金属あるいはセラミックでできた人工の骨頭を設置する。人工股関節置換術とは違い、骨盤側は置換しない
ペースメーカー植込み術	14	胸の皮下にペースメーカー本体を収納し、本体から出ている電極リードを静脈内に挿入し、血管を通して心臓内に留置する

より充実したリハビリテーションの提供 回復期リハビリテーション病棟入院基本料1を届出

医事課長 坂本 和之

2012年4月の診療報酬改定で、より充実した体制で、より医学的処置の必要のある患者や重症な患者を受け入れ、状態改善や在宅復帰を十分行っている場合を評価した高基準の回復期リハビリテーション病棟入院料1が新設されました。

【2012年3月まで】

回復期リハビリテーション病棟入院料1	1,720点
回復期リハビリテーション病棟入院料2	1,600点

【2012年4月から】

(新)回復期リハビリテーション病棟入院料1	1,911点
(改)回復期リハビリテーション病棟入院料2	1,761点
回復期リハビリテーション病棟入院料3	1,611点

当院では、4月の実績で下記の施設基準をクリアし、6月より算定を開始しました。

施設基準	実績
在宅復帰率70%以上	76.6%
新規入院患者重症度30%以上	40.5%
新規入院患者看護必要度A項目1点以上15%以上	27.7%
日常生活機能評価が4点以上改善した重傷者30%以上	67.6%

2003年7月より紀南地方で初めて回復期リハビリテーション病棟(37床)を運営し、2011年6月より49床に増床しました。

小口リハビリテーションセンター長(リハビリテーション専門医)が専任となり、豊富なスタッフを揃え(看護師・介護士を合わせて2ベッドに1人以上、理学療法士19人、作業療法士8人、言語聴覚士1人、医療ソーシャルワーカー1人)、365日、毎日リハビリテーションを実施し、1日平均のリハビリ時間は2時間以上(6単位)となります。



より質の高いリハビリテーションを提供し、病気やけがで障害の残った方々の家庭復帰、社会復帰のお手伝いをおこないます。

入院等のご相談は、**地域ケア室 医療相談・地域連携係**(TEL0739-43-6208)までご連絡ください。

より良い回復期リハ病棟を選ぶポイント

まず、リハビリテーション専門医がいることです。

2点目は、看護・介護スタッフの人数が豊富であること。基準は「看護師・介護士を合わせて2ベッドに1人以上」と定められていますが、人数がより多いほど、食事や排泄の際に手厚い支援を受けることができます。

3点目は、療法士によるリハビリ時間が長いことで、最低でも1日2時間(=6単位)以上、できれば3時間のリハビリを実施している施設が理想です。また、チーム力を感じる雰囲気やスタッフの雰囲気が明るいということも、選択項目のひとつです。

(全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会のホームページより)

新採用医師のご紹介



なかざき しげあき
神経内科部長 中崎 繁明

プロフィール

1986年3月 福井医科大学卒業	1991年4月 国立療養所北潟病院
1986年5月 福井医科大学附属病院	1996年4月 国民健康保険国高診療所
1987年4月 国立療養所北潟病院	1998年6月 白浜はまゆう病院
1989年4月 福井医科大学附属病院	2005年4月 京都南西病院

白浜はまゆう病院には14年前から7年間在籍し、主に内科・神経内科・リハビリテーション科の患者様を拝診し、通院・入院・在宅療養までの多職種による一貫した対応を心がけておりました。当時より、地域医療活動の大切な要素である、公正で親切的組織力を育む当院の気風に強く惹かれ、この度、再就職させていただきしました。7年前の退職時には大変失礼致しましたが、白浜はまゆう病院が住民の皆様に頼りにしていただくことができ、引き続きご協力が得られる医療機関であるよう、今後は、一職員として全力を尽くす覚悟ですので、よろしくお願い致します。

日本での看護師を目指して頑張っています

～中国より研修生が来られました～

看護部長 東 直子

白浜はまゆう病院では、2012年4月より中国山東省から2人の研修生を受け入れています。

2008年8月、日本－インドネシア間の経済連携協定（EPA）に基づくインドネシア人看護師・介護福祉士候補生の第一陣が受け入れられました、翌2009年には、日・フィリピンEPAに基づく受入れが行われました。この制度は、日本の少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少など、労働問題の一環としてや、EPAや自由貿易協定（FTA）など経済問題の関連で取り上げられることが多いですが、看護・介護の担い手として、今後、外国人と接することがより身近になっていくことが考えられます。

研修生の趙さんと孫さんのお二人は、中国の看護師資格を持っていますが、日本では、無資格扱いであるため来年2月にある国家試験合格を目指して今は、和歌山での日本語の勉強と白浜はまゆう病院の実習に頑張っています。試験に合格し日本の資格取得後は、看護師として就労することになります。

外国人の受け入れに対しては、不安もありましたが、いろいろな人を受け入れることは病院の風通しを良くし、患者様や職員に刺激を与えることになっていると考えています。患者様や職員のあたたかい見守りの中で2人が資格を取得し、日本で看護師として共に働く日を楽しみに支援していきたいと思います。



研修生の趙さんと孫さん

4月から白浜はまゆう病院で実習しています。はまゆう病院は中国の病院より小さいですが、病室はきれいで海も見えます。とてもきれいな病院だと思います。

職員の皆さんは全員優しいです。患者と家族みたいな関係だと思います。患者と看護師の関係はとてもいいです。これは中国とぜんぜん違います。初めて見た時、びっくりしました。病院の方々は、私たちに全員親切ですし、生活と勉強に関心を持ってくれており、お世話になっています。ありがとうございます。

白浜は温泉があるし、海もあります。とてもきれいなところですよ。そんなきれいな所で働くことは嬉しいです。はやく看護師になりたいです。これからも一生懸命頑張ります。

チョウ サンサン
(趙 珊珊)

健診でメタボリックシンドロームを予防しましょう

人間ドック・健診センター 保健師 栗畑 浩子

メタボリックシンドローム。俗にいうメタボ。

昔々は、年を重ねるとなる病気として扱われていた高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病などの成人病が、生活習慣によって引き起こされる事がわかり生活習慣病と呼ばれるようになりました。

さらに最近、それは「内臓脂肪型肥満」という大きな根っこの上に伸びてくる病気の「芽」に過ぎない事、しかも、まだ病気とは診断されない「血糖値がちょっと高め」「血圧がちょっと高め」といった段階でも、動脈硬化が急速に進行し、心臓病や脳卒中など、命に関わる病気を引き起こす危険性が急激に高まる事がわかり、2008年度から全国的にメタボの予防に取り組み始めました。

当院人間ドック健診センターでも、国保や各種共済に加入されている方の特定保健指導を実施しており、毎年、沢山の方がメタボから脱出されています。



メタボ教室(毎月1回開催)



ウォーキングの前の体操



事業所での個人指導

また、今年度からは、協会けんぽ(全国健康保険協会)健診の結果、メタボ予備群または該当の方への特定保健指導も始まりました。

「メタボは気になるけど、忙しくて時間がない」という方のために、当院保健師・管理栄養士が事業所にお伺いし指導させて頂きます。また、土曜日の午後に体験型の教室も開催しています。

メタボは、見かけの肥満度やおなか周りだけでは判断できません。血糖値や血圧・中性脂肪などの小さな芽を摘み取りながら内臓脂肪も減らしていきましょう。「面倒くさそうやなあ」と思いませんか? 今の生活習慣を、あなたに合った方法でほんの少し変えるだけです。

「それならできるわ! やってみるわ!」 10年後も元気で働き続けられるために、一緒に考えましょう。

整形外科の診療体制について

2012年4月から当院整形外科は常勤医師が一人体制となるなどの事情により、6月より水曜日の診療が休診となっております。9月からは、非常勤医師のみの体制となる可能性もあります。

整形外科系患者様(骨折等)の救急の受入れも困難な状況で、他の医療機関の受診をお願いすることとなり、ご迷惑をお掛けし誠に申し訳なく感じています。

地域の皆様が安心して受診していただけるよう努力をしておりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

自宅で人生を終えること

～自分らしい人生のお手伝い～

健康なときには、なかなか考えにくいものですが、誰にでも寿命があります。自分はどのようにして一生を過ごすのか、残された時間をどう過ごすのかなど考えることはとても大切なことです。そういう心の準備が穏やかな最期へとつながっていきます。最近は「最期まで住み慣れた家で過ごしたい」と思う方が増えてきています。その思いをかなえる一つが在宅療養です。



地域ケア室 副室長
診療所統括師長
宮本 美紀

在宅療養となると、いろいろ心配なことがあるかもしれません。急に病状が悪くなったらどうしよう？そう心配される方もいるでしょう。でも、24時間、電話で対応が可能ですし、必要に応じて夜中でもご自宅に訪問もします。必要に応じて点滴など医療処置も行います。やはり家では無理だなー、病院にいききたいなーという希望があれば、入院の手配もします。

また、朝起きたら急に亡くなっていたということもあるかもしれません。そういう時にはどうしたらいいの？と思われる方もいるでしょう。あわてて救急車を呼ぶ必要も警察を呼ぶこともあります。いつものように連絡していただければ必要な処置や手続きを行い、旅立ちのお手伝いをします。時にはご家族とともに、ご自宅で最後を一緒に見守ることもしています。

それに金銭面での優遇もあります。70歳以上でがんの終末期では、所得に応じて定額で訪問診療や訪問看護などが受けられ、入院費に比べ、医療費負担はかなりの低額で済ませることができます。

昔は家で最後を迎えることが当たり前でしたが、時代は変わり病院で看取ることが普通になってきました。でも今は、本人が望む場所で、再び自宅でも穏やかな最期を迎えることができます。家族も医療従事者も思いを一つに、最後まで自分らしい生活ができるよう、お手伝いをしたいですね。



在宅医療は、心の医療で、医療従事者が患者の心に寄り添い、支えあう環境づくりが不可欠な医療です。

ご本人、ご家族の気持ちを大切に、一緒に考え、穏やかな療養生活を送れるようお手伝いさせていただきます。在宅での看取りについて何か聞きたいこと、相談したいことがあればいつでも気軽にお声をかけてください。

鮎川診療所10周年記念事業 鮎川・健康まつり

～2012年10月21(日)開催します～



2002年10月に鮎川診療所が誕生し今年で10年が経ちます。そこで10周年を記念し今秋2012年10月21日、日頃忙しくて健診など受けられない方にも是非参加していただきたいと日曜日に、鮎川診療所内で無料健康診断を「鮎川・健康まつり」として行おうと企画しております。その概要は次のとおりです。

興味のある方は、ぜひご参加下さい。

**日時:10月21日(日)午前9時～11時、
13時～15時 受付**

①無料健康診断

項目 身長、体重、血圧測定、聴力検査、尿検査、内科健診
頸動脈エコー検査(プラーク-狭窄-の有無のみチェック)
以前に受けられた検査結果を持参していただければ、
その結果の説明もいたします。



鮎川診療所スタッフ一同

②ワンコイン健診(1セット500円) ※準備の都合上事前予約が必要です。

- 糖尿病セット(血糖値、HbA1c)**…糖尿病であるかどうかを調べます。
- 脂質セット(総コレステロール、HDL、LDL、中性脂肪)**…高脂血症の有無や程度を調べます。
- 腎機能セット(尿素窒素、尿酸、血清クレアチニン)**…腎臓の働きを調べます。
- 肝機能セット(GOT、GPT、γGTP)**…肝臓の働きを調べます。
- プレミアム尿検査セット(尿アルブミン、塩分摂取量)**

…尿アルブミンは小さな尿蛋白です。尿蛋白は心血管病の危険因子といわれています。日本高血圧学会が推奨する方法で、大まかな一日塩分摂取量を調べます。日本人の高血圧は塩分摂取量が多いためとされています。

例えば、「糖尿病セット」と「脂質セット」を選択していただくと、2セットで1000円となります。セット数の加算により500円ずつ上乗せされます。

患者さま からの Voice

Q 一度、診察券を頂いたら、ずっと機械で通るようにして欲しい。今は、3ヶ月で通らなくなる。
保険証は、その後で見せるようにすればよいと思います。

A ご不便をお掛けし申し訳ございません。
病院では、一か月分の診療内容を「レセプト」として、各保険者に提出しなければいけません。そのため、月に一度の保険証の確認が必要となっております。
本来は事前に保険証の提出をいただき、保険診療の資格があることを確認することとなっております。制度をご理解いただき、保険証が変更になった場合はその都度、保険証に変更がない場合でも、毎月の保険証の提示をお願い致します。

医事課長

私たちが
おすすめする

カラダにいい とっておきレシピ



～野菜たっぷりピリ辛肉味噌うどん～

野菜が1皿で180gも摂れるボリューム満点でピリ辛の夏にぴったりのメニューです。
うどんを中華めんにしたたり、そうめん、冷麦にしたたり。肉味噌はたくさん作っておいて、
冷奴にのせたり、スティック野菜に付けたり、色々なアレンジが出来ます。



食養科長・管理栄養士
吉川 貴子

野菜たっぷりピリ辛肉味噌うどん

<1人分>

うどん……………	200g	もやし……………	30g
豚挽き肉……………	50g	錦糸卵……………	1/2個分
干し椎茸……………	1枚	トマト……………	30g
エリンギ……………	20g	白髪ネギ……………	
たけのこ……………	20g	山椒……………	適量
人参……………	20g		
おろし生姜……………	2g		
長ネギ……………	1/4本		
ごま油……………	小さじ1/2		
片栗粉……………	小さじ1/2		
きゅうり……………	1/2本		

調味料

豆板醤……………	小さじ1/2
砂糖……………	小さじ1/2
しょうゆ……………	小さじ2/3
味噌……………	大さじ2/3
酒……………	大さじ1
ピーナッツバター……………	小さじ1/3
鶏がらスープの素……………	小さじ1/3
水……………	50cc



栄養価 エネルギー…500kcal タンパク質…25g 脂質…15g 食物繊維…10g 塩分…3.8g

作り方

- ①長ネギの1/3は白髪ネギにし、残りはみじん切りにする。
- ②干し椎茸(水に戻しておく)、エリンギ、たけのこ、人参はみじん切りにする。
- ③きゅうりは5cm程度の細切りにする。もやしはゆでる。トマトは薄切りにする。錦糸卵を作っておく。
- ④うどんは茹でて冷水で冷やしザルに上げておく。
- ⑤フライパンにごま油を熱し、豚挽き肉、おろし生姜、みじん切りのネギを加えて炒める。パラパラになってきたら、②の野菜を加えて炒める。
- ⑥すべてに火が通ったら、あわせておいた調味料を加えて混ぜ、5分程度煮込む。
- ⑦水溶き片栗粉を回し入れ、とろみが付いたらごま油を加えてひと混ぜする。
- ⑧器にうどんを盛り、③の野菜、肉味噌をのせ、白髪ネギをのせる。好みで山椒をかける。

新本館建設工事の再開に向けて

施工ミスにより中断していた白浜はまゆう病院新本館建設工事は、既設工事部分を解体中であり、9月20日に終了する予定です。

患者様・近隣の皆様には騒音・振動等でご迷惑をお掛けして申し訳ございません。

建設工事の再開に向けて、この程、新規請負者が決定し、工事を再開することになりました。

新病院の完成に向けて全力で取り組んで参ります。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

新本館建設工事の再開

*請 負 者 戸田建設株式会社大阪支店

*工事種別 新本館建設工事 既存本館の解体撤去・外構工事 町道水路改築工事

*工事期間 2012年7月～2014年8月(新本館の完成予定 2013年10月)

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診 療 科			月	火	水	木	金	土
内 科	内科1(初診)	午前	山崎 幸茂	佐藤 啓	伊藤 揚莊	榎本 宗浩	高井 恵美	高村 竜一郎
		午後	伊藤 揚莊	赤松／松本	松本 潤	辻 淳	赤松 功博	
	内科2(再診)	午前	木下 正博	休診中	松尾 晃次	松尾 晃次	山崎 幸茂	
		午後	松本 潤	休診中		松本 潤	山崎 幸茂	
	内科3(再診)	午前			赤松 功博	佐藤 啓		
		午後			佐藤 啓	榎本 宗浩		
	内科4(再診)	午前		齊藤 豊	中川 武正		休診中	
		午後	中村 信男		立田 秀明		休診中	
	内科5(再診)	午前		伊藤 揚莊	谷口 友志	伊藤 揚莊	谷口 友志	
		午後	辻 淳	井神 仁	谷口 友志		木下 正博	
外科		午前	当番医	曾我 耕次	宮前 真人	曾我 耕次	宮前 真人	当番医
脳神経外科		午前				中北 和夫		
整 形 外 科	整形1(初診)	午前	当番医	当番医	休 診	当番医	岩切 健太郎	
		午後						
	整形2(再診)	午前	金本 成熙	リウマチ外来		金本 成熙		
				金本 成熙				
装具外来		午前	装具外来			装具外来		
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋	
婦人科		午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也			
		午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
皮膚科		午前						県立医大・京大
		午後		県立医大・京大				
眼科		午後			芦田 淳			
耳鼻咽喉科		午後				県立医大		
循環器外来		午前		休診中			休診中	
		午後	中村 信男	休診中			休診中	
呼吸器外来		午前			松尾 晃次	松尾／榎本		
		午後				榎本 宗浩		
アレルギー・呼吸器専門外来		午前			中川 武正			
腎臓内科		午前		齊藤 豊				
泌尿器科外来		午前	柏木 秀夫	柏木 秀夫	柏木 秀夫	柏木 秀夫	柏木 秀夫	当番医
神経内科・ リハビリテーション専門外来		午前	小口 健	廣西 昌也	石口 宏	(内科)佐藤	中崎 繁明	
		午後	廣西 昌也	石口 宏	中崎 繁明	小口 健		
緩和ケア外来(予約制)		午後			休診中			
心療内科 漢方外来		午後			立田 秀明			
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚莊		伊藤 揚莊		
糖尿病専門外来		午後		井神 仁				
消化器専門外来		午前	山崎 幸茂		谷口 友志		山崎／谷口	
		午後			谷口 友志		山崎 幸茂	
循環器・高血圧専門外来		午前						有田 幹夫(月2回)

※火曜日午後 内科1診…第1・3・5(赤松)、第2・4(松本) ※診療担当医が変更になることがあります。ご了承ください。

2012.8.1～

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日・祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	※診療時間外(夜間・休日)に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付します ので、白浜はまゆう病院へ 電話でご連絡ください。
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
糖尿病外来(火)	14:00～16:00	14:00～16:00	
眼科(水)	12:00～14:30		
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30～11:00	9:00～12:00	



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

- 西 富 田 ク リ ニ ッ ク
- 鮎 川 診 療 所
- 日 置 診 療 所
- 三 舞 診 療 所
- 川 添 診 療 所
- 訪 問 看護ステーションたんぽぽ

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678

TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005

TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192

TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001

TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037

TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682